

平成25年度 全国学力・学習状況調査結果について

平成26年3月
長野市教育委員会

1 趣 旨

平成25年度全国学力・学習状況調査が、4月24日に実施されました。本市の児童生徒の学力や学習習慣、生活習慣等に関わる状況について調査結果の概要を取りまとめました。

本市では、調査結果をもとに教師の指導改善や学校の教育課程改善を図ることで、児童生徒への基礎学力の保障を図ることを第一と考えており、調査結果の数値は、指導した教師が自己の指導を振り返るためと、児童生徒一人一人が学習改善につなげるために活用しております。

また、結果は、全国や長野県の結果との比較については行わず、文章表現で教科における課題を中心に公表することとしました。

なお本市では、児童生徒にどのような学力が定着し、どのような課題があるのかを把握し、「基礎学力の保障」を図るため、長野市小中学校基礎学力調査事業を推進しております。

2 調査対象学年、調査問題、実施学校数、児童生徒数及び調査実施日

	対象学年等	調査問題	長野市の状況		実施日
			実施校数	実施児童生徒数	
小学校	小学校 第6学年	国語A・B、算数A・B 児童質問紙	55校	3,471人	平成25年 4月24日(水)
	学 校	学校質問紙	55校		平成25年4月24日 までに実施
中学校	中学校 第3学年	国語A・B、数学A・B 生徒質問紙	24校	3,280人	平成25年 4月24日(水)
	学 校	学校質問紙	24校		平成25年4月24日 までに実施

3 調査実施内容

(1) 教科に関する調査(国語、算数・数学)

主として「知識」に関する問題(A)	主として「活用」に関する問題(B)
<ul style="list-style-type: none"> 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 実生活において不可欠である、常に活用できるようにになっていることが望ましい知識・技能 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力 様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 <p style="text-align: right;">など</p>

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

4 留意事項

- (1) 教科に関する調査については、調査科目が、国語、算数・数学の2教科であることと、学習指導要領に示された身につけるべき学力の全体を網羅しているわけではないことから、児童生徒が身につけるべき学力の一部であるということに留意する必要があります。また、質問紙調査については、質問項目に関する児童生徒や学校の実態の傾向を示したものであり、改善に向けては個々への対応が大事であることに留意する必要があります。
- (2) 文部科学省のホームページに「平成 25 年度全国学力・学習状況調査の結果について」として、調査結果の概要や報告書が掲載されていますので、参考にしてください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/zenkoku/1339080.htm

5 調査結果から明らかになったこと

(1) 児童生徒の学力に関する調査結果 (問題別の概要)

長野市の児童生徒が、今回出題されている問題について、どのような力が定着していてどのような課題があるのかを把握するために、以下の観点で調査問題及び学年別に概要をまとめました。

<○定着が見られるよい点 ●課題が見られる点>

【小学校6年生】

学 力 の 状 況 (出題の趣旨より)	
国語 A	○目的に応じて資料を読み、分かったことを的確に書くこと ○広告を読み、編集の特徴を捉えること ●文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと
国語 B	○話し手の意図を捉えながら聞き、効果的に助言をすること ○2人の推薦文を比べて読み、推薦している対象や理由を捉えること ●目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書くこと
算数 A	○示された位までの概数にする際、一つ下の位の数に四捨五入して処理する方法について ○三角形 ABC と合同な三角形をかくために必要な条件を理解すること ○ $1a$ (1 アール) の面積と等しい正方形の一辺の長さを理解すること ○単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解すること ●繰り下がりのある減法の計算をすること ●同分母の分数の加法の計算をすること
算数 B	○表から数値を適切に取り出して、二つの数量の関係が比例の関係でないことを記述すること ○示された分け方で二つの三角形の面積が等しくなることを記述すること ○示された式に数値を当てはめて計算し、計算の結果の大小を基に判断すること ○割合が同じで基準量が増えているときの比較量の大小を判断し、その判断の理由を記述すること ●示された平均を求める式から、その計算の結果が何を求めているのかについて理解すること

【中学校3年生】

国語 A	<ul style="list-style-type: none"> ○文脈に即して漢字を正しく書くこと ○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと ●文の接続に注意し、伝えたい事柄を明確にして書くこと ●目的に応じて必要な情報を読み取ること ●文章の展開に即して内容を捉えること
国語 B	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字の特徴を捉えて、自分の考えを具体的に書くこと ●課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考えること ●文章の内容について、根拠を明確にして自分の考えを書くこと ●文章の構成や表現の特徴を捉えること
数学 A	<ul style="list-style-type: none"> ○ヒストグラムから相対度数を求めること ●正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解すること ●整式の加法と減法の計算すること ●多角形の外角の意味を理解すること ●証明の必要性和意味を理解すること ●与えられた文字式の意味を、具体的な事象の中で読み取ること
数学 B	<ul style="list-style-type: none"> ○与えられた表から情報を適切に選択し、処理すること ●事柄が成り立つ理由を、示された方針に基づいて説明すること ●発展的に考え、予想した事柄を説明すること ●方針に基づいて証明すること ●問題場面における考察の対象を明確に捉えること ●事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明すること

(2) 質問紙調査結果 <全国平均の割合と比較して、○高い ●低い>

① 児童生徒質問紙調査の結果

小学 校 6 年	<ul style="list-style-type: none"> ○平日の起きる時間や、寝る時間が早い。 ・平日、テレビやビデオを見たり、ゲームをしたりする時間は、やや短い。 ○図書館へ行く割合。 ○携帯電話やスマートフォンを持っていない割合。 ○地域の行事に参加する割合。 ●休日、4時間以上勉強する割合。 ●家で、学校の授業の予習をする割合。
中 学 校 3 年	<ul style="list-style-type: none"> ○平日の起きる時間や、寝る時間の早い割合。 ・平日、テレビやビデオを見たり、ゲームをしたりする時間は、やや短い。 ○携帯電話やスマートフォンを持っていない割合。 ○家で、学校の宿題を行う割合。 ○地域の行事に参加する割合。 ●平日、3時間以上勉強する割合。 ●家で学校の授業の予習をする割合。

② 学校質問紙調査の結果

<p>小学校</p>	<p>○児童は、礼儀正しいと思う割合。 ○「朝の読書」を毎日位置づけている割合。 ○学校図書館を活用した授業を計画的に行った割合。 ○授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた割合。 ○児童の発言や活動の時間を確保して授業を進めた割合。 ○コンピュータ等の基本的な操作を身につける指導を行った割合。 ○学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えたことの割合。 ●学級やグループなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができると思う割合。 ●将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行った割合。 ●総合的な学習の時間で、課題の設定から始まる探究の過程を意識した指導の割合。</p>
<p>中学校</p>	<p>○生徒は、礼儀正しいと思う割合。 ○「朝の読書」を毎日位置づけている割合。 ○学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思う割合。 ○地域の人材を外部講師として招聘した授業を行った割合。 ○PTA や地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれた割合、 ●生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を行った割合。 ●授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた割合。 ●学級やグループなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができると思う割合。 ●将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行った割合。 ●総合的な学習の時間で、課題の設定から始まる探究の過程を意識した指導の割合。</p>